

令和7年 方位除け 年まわり表

方位除けについて

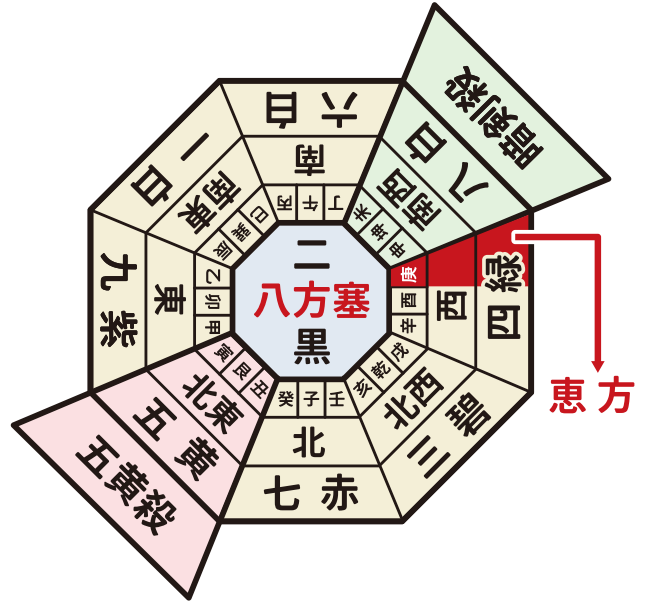
方位除けには大きく分けて2つの種類があります。1つは「年回りによる方位除けで、人が生まれながらに持っている本命星が、その年にどの方向に位置しているか」で吉凶を占います。そして、もう1つが転居や新築、旅行など、文字通りに行く先の「方角・方位」による災いを防ぐための方位除けです。同じ家族でも、生まれによって良い方角悪い方角は異なるため、なかなか家族全員吉方位が揃うことはありません。そのような場合に方位除けのお祓いを受けて、大難を小難に、小難を無難に収めます。

■ 恵方

本年は申と酉の間の庚(かのえ)(西南西)が歳徳となり恵方です。

■ 凶方

歳破の亥(北西)の方角は、令和7年立春から、翌年節分までの1年間、普請、動土、造作、改築、土木工事等に関して凶方となります。また各人の本命星が在泊している方角を本命殺といい、その反対側の的殺の方角も含め5大凶殺方位となります。



恵方
(あきのかた)
その年の福德を司り、一年中の大吉方位といわれています。

本命星の位置について

■ 八方塞がり

本命星が中央に位置し、八方をすべて塞がれ、どの方位に事を起してもうまくいかない八方塞がりの年回りです。

■ 鬼門

本命星が北東表鬼門に位置し、何事にも変化・変動が多く、運氣も衰えがちになり、病気にも注意が必要です。

■ 困難期

本命星が北に位置し、最も運氣が停滞する年です。何事にも謙虚な気持ちで、次の飛躍への準備の年と考えるのがよいでしょう。

■ 裏鬼門

本命星が南西の裏鬼門に位置し、前年まで衰退の運氣が除々に好転しはじめますが年の前年は要注意です。

【年齢は数え年】

八方塞がり (中央) 二黒土星	鬼門 (北東) 五黄土星	困難期 (北) 七赤金星	裏鬼門 (南西) 八白土星
令和7年生 (1歳・へび)	令和4年生 (4歳・とら)	令和2年生 (6歳・ねずみ)	令和元年・平成31年生 (7歳・いのしし)
平成28年生 (10歳・さる)	平成25年生 (13歳・へび)	平成23年生 (15歳・うさぎ)	平成22年生 (16歳・とら)
平成19年生 (19歳・いのしし)	平成16年生 (22歳・さる)	平成14年生 (24歳・うま)	平成13年生 (25歳・へび)
平成10年生 (28歳・とら)	平成7年生 (31歳・いのしし)	平成5年生 (33歳・とり)	平成4年生 (34歳・さる)
昭和64年・平成元年 (37歳・へび)	昭和61年生 (40歳・とら)	昭和59年生 (42歳・ねずみ)	昭和58年生 (43歳・いのしし)
昭和55年生 (46歳・さる)	昭和52年生 (49歳・へび)	昭和50年生 (51歳・うさぎ)	昭和49年生 (52歳・とら)
昭和46年生 (55歳・いのしし)	昭和43年生 (58歳・さる)	昭和41年生 (60歳・うま)	昭和40年生 (61歳・へび)
昭和37年生 (64歳・とら)	昭和34年生 (67歳・いのしし)	昭和32年生 (69歳・とり)	昭和31年生 (70歳・さる)
昭和28年生 (73歳・へび)	昭和25年生 (76歳・とら)	昭和23年生 (78歳・ねずみ)	昭和22年生 (79歳・いのしし)
昭和19年生 (82歳・さる)	昭和16年生 (85歳・へび)	昭和14年生 (87歳・うさぎ)	昭和13年生 (88歳・とら)
昭和10年生 (91歳・いのしし)	昭和7年生 (94歳・さる)	昭和5年生 (96歳・うま)	昭和4年生 (97歳・へび)
大正15年・昭和元年 (100歳・とら)	大正12年生 (103歳・いのしし)	大正10年生 (105歳・とり)	大正9年生 (106歳・さる)